

恵那南地区 中学校のあり方について

恵那市教育委員会

① 現在の状況

② これからのこと

平成26年度の学級数と教員数

学校名		学級数	教員数	教員計
岩 邑	通 常	6	9	10名
	特 支	1	1	
山 岡	通 常	5	8	9名
	特 支	1	1	
明 智	通 常	6	9	11名
	特 支	2	2	
串 原	通 常	3	6	6名
	特 支	0	0	
上 矢 作	通 常	3	6	8名
	特 支	2	2	

中学校の教員定数(教諭)

学級数	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
教員 定数	6	7	8	9	11	13	14	16	17	18	19

※すべての教科を免許を所持した専門性のある教員が指導するため必要教員数

国語、社会、数学、理科、音楽、美術、体育(男・女)、技術・家庭、英語

⇒**9教科 11名**

加 配

音樂・美術・家庭科

少人数指導 等

岩邑中の学級数と生徒数の推移

	H26		H29		H32		H35		H38		H26→H38
	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	生徒数
1年	2	48	1	30	2	49	2	36	1	26	12年後 -28% -43人
2年	2	49	2	41	1	38	1	34	2	43	
3年	2	54	2	54	2	54	2	49	2	44	
特支	1	5	2	3	1	1					
合計	7	156	7	128	6	142	5	119	5	113	

* 学級定員 中学校1年生 35名
中学校2. 3年 40名

3割減

山岡中の学級数と生徒数の推移

	H26		H29		H32		H35		H38		H26→H38
	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	生徒数
1年	2	37	1	32	1	34	1	25	1	20	12年後は -48% -60人
2年	1	38	1	32	1	34	1	27	1	23	
3年	1	47	2	46	1	31	1	27	1	22	
特支	1	3	2	2	2	3					
合計	5	125	6	112	5	102	3	79	3	65	

* 学級定員 中学校1年生 35名
 学校2. 3年 40名

5割減

明智中の学級数と生徒数の推移

	H26		H29		H32		H35		H38		H26→H38
	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	生徒数
1年	2	36	2	42	2	37	1	27	1	23	12年後 は -38% -56人
2年	2	52	1	36	1	34	2	52	2	41	
3年	2	54	1	35	1	33	2	43	1	27	
特支	2	5	2	3	2	5					
合計	8	147	6	116	6	109	5	122	5	91	

4割減

串原中の学級数と生徒数の推移

	H26		H29		H32		H35		H38		H26→H38
	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	生徒数
1年	1	2	1	4	1	4	1	10	1	7	12年後 は +42% +5人
2年	1	4	1	3	1	5	1	7	1	7	
3年	1	6	1	6	1	8	1	3	1	3	
特支											
合計	3	12	3	13	3	17	3	20	3	17	

4割増

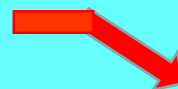
上矢作中の学級数と生徒数の推移

	H26		H29		H32		H35		H38		H26→H38
	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	生徒数
1年	1	18	1	11	1	9	1	12	1	6	12年後 は -36% -17人
2年	1	12	1	14	1	10	1	12	1	14	
3年	1	13	1	17	1	12	1	12	1	10	
特支	2	4	2	3							
合計	5	47	3	45	3	31	3	36	3	30	

4割減

恵那南地区中学校の生徒数の推移

	26	28	30	32	34	36	38	割合	増減
岩邑	156	148	128	142	133	114	113	0.7	-43
山岡	125	117	96	102	89	74	65	0.5	-60
明智	147	112	114	109	134	106	91	0.6	-56
串原	12	11	15	17	14	20	17	1.4	+5
上矢作	47	52	39	31	33	34	30	0.6	-17
全体	487	440	392	401	403	348	316	0.65	-171



急激な生徒数の減少

恵那南地区出生数

平成25年度

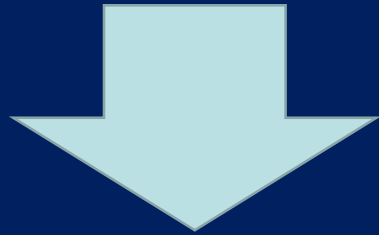
町 名	出生数
岩 村	29
山 岡	19
明 智	22
串 原	4
上矢作	7
合 計	81

平成26年度

町 名	出生数
岩 村	26
山 岡	9
明 智	18
串 原	1
上矢作	8
合 計	62

平成27年1月まで

つまり13年後は、
南地区5校全て
1学年70人程度
の生徒数になり……



現状

その後も
加速度的に生徒数は減少する。
先細り、地域の力も失われていく…

② これからのこと

【学校の果たす役割】教育基本法

- ・社会的自立の基礎、社会の形成者としての基本資質を養う。

そのために...

- ・集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて、一人一人の資質や能力を伸ばしていく【学校の特質】

学級数が少ないことによる学校運営上の課題

文部科学省の手引

- クラス替えができない
- クラス同士が切磋琢磨する教育ができない。
- クラブ活動や部活動の種類が限定される。
- 運動会、文化祭等の集団活動行事の教育効果が下がる。
- 男女比の偏りが生じやすい。
- 上級生下級生間のコミュニケーションが少なくなる。
- 体育、音楽等、集団学習の実施に制約が生じる。
- 班活動やグループ分けに制約が生じる。
- 教員数が少なくなり免許外指導教科が生まれる。

文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」より

学校運営上の課題が生徒に与える影響

- 生徒の 人間関係や相互の評価が固定化しやすい。
- 教員の専門性を生かした教育を受けられない。
- 教員への依存心が強まる可能性がある。
- 進学等の際に大きな 集団への適応に困難を来す可能性がある。
- 多様な物の見方や考え方、表現の仕方に触れることが難しい。
- 多様な活躍の機会がなく、多面的な評価の中で個性を伸ばすことが難しい。

文部科学省「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」より

学校で身に付けたい力

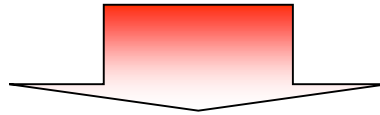
□主体性と社会性

- 挑戦する力
- たくましさ
- 人との関係を保つ力
- 壁を乗り越える力

自己学習力

人間関係調整能力

課題解決力



適切な人数の学校規模が必要不可欠

【これからの時代】

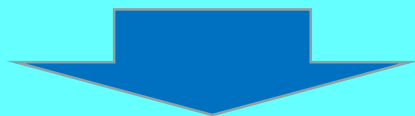
- 先行き不透明な時代
- グローバル社会
- 非正規社員の増大
- 成長社会から成熟社会

育てたい

これからの時代を生き抜く子ども

市教委が考える今後の方向

□恵那南地区5中学校の方向性は、5校を統合し、1校を新設することが望ましい。



地域や時代のニーズに応える、新しい
コンセプトをもった中学校を創設する

新しいコンセプトを持った学校の創設

切磋琢磨

活気

部活

専門教科

上矢作
中学校
(31名)

串原
中学校
(17名)
(仮称)

明智
中学校
(109名)

岩邑
中学校
(142名)

恵那南中学校
(401名)
平成32年度

山岡
中学校
(102名)

恵那東中学校
(417名)

恵那北中学校
(91名)

恵那西中学校
(400名)





適正規模の学校
でしか出来ない
こと！

今しか、出来ないこと！



ありがとうございました。